

本会では、毎年7月1日を調査時点として、全国統一様式により中小企業の労働事情に関する実態調査を実施しております。

今年度の調査は秋田県内800事業所(製造業440、非製造業360)を対象とし、そのうち501事業所(回答率62.6%)から回答をいただきました。その概要について、主要項目をピックアップしましたので、お知らせいたします。

なお、詳細な調査結果については、本会のホームページ(<http://www.chuokai-akita.or.jp/roudou>)に掲載しておりますので併せてご覧下さい。

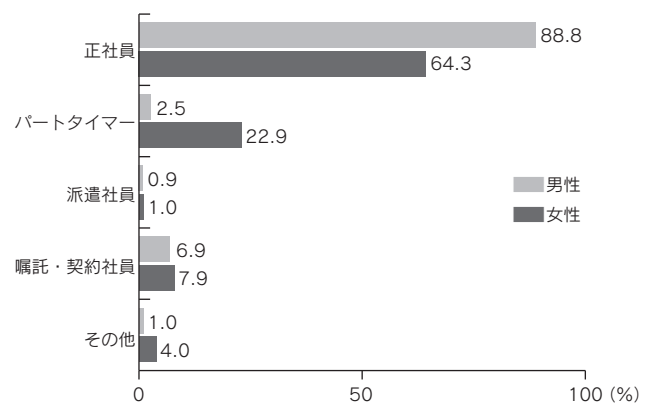
1 調査時点	平成25年7月1日
2 調査対象事業所	800事業所
3 回答事業所	501事業所
4 回答率	62.6%

1 雇用形態の構成

秋田県における従業員の雇用別形態構成を見ると、男性は「正社員」が88.8%と全国平均の85.0%を3.8ポイント上回っており、およそ9割と極めて高い割合となっている。一方、女性は「正社員」が64.3%と全国平均の53.4%を10.9ポイント上回っている。

本県は「正社員」の比率は全国平均と比べて男女ともに雇用割合が高い。対して、本県の「パートタイマー」の比率は全国平均と比較すると男女ともに低い雇用割合を示している。(図-1)

図-1 雇用形態の構成

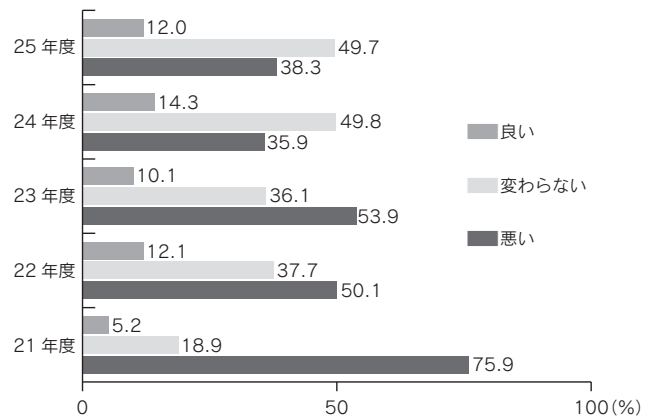


2 経営状況の推移

本県の中小企業経営状況の推移について、前年度と比べて状況が「悪い」とする事業所は38.3%と昨年度の35.9%を2.4ポイント上回り、「良い」とする事業所が12.0%と昨年度の14.3%と比較すると2.3ポイント下回る結果となった。

また、「変わらない」とする事業者は49.7%と昨年度とほぼ横ばい傾向にある。(図-2)

図-2 経営状況の推移

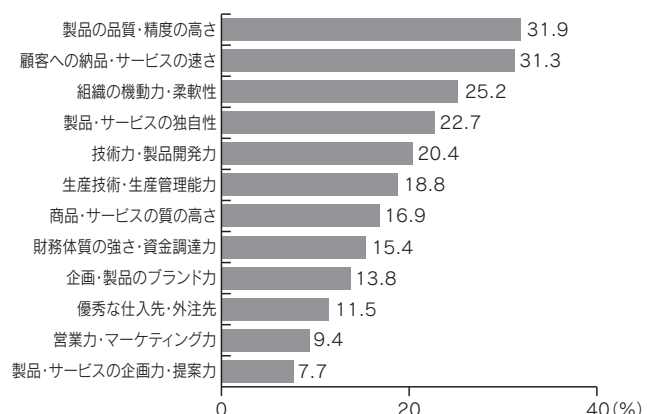


3 経営上の強み(複数回答)

経営上の強みを3項目以内で複数選択してもらった結果、「製品の品質・精度の良さ」が31.9%と最も多く、次いで、「顧客への納品・サービスの速さ」が31.3%、「組織の機動力・柔軟性」が25.2%となった。

「製品の品質・精度の良さ」の割合が「顧客への納品・サービスの速さ」を上回ったことで、7年ぶりに順位の変動があった。(図-3)

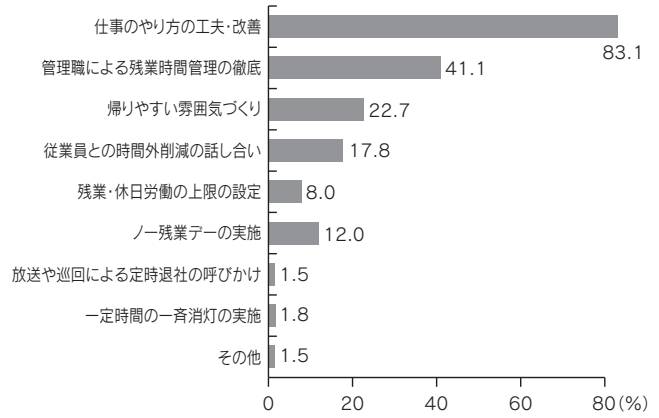
図-3 経営上の強み(複数回答)



4 時間外労働削減の取り組み内容

時間外労働を削減する取り組みについて3項目以内で選択してもらった結果、「仕事のやり方の工夫・改善」が83.1%で最も多く、次いで「管理職による残業時間管理の徹底」が41.1%、「帰りやすい雰囲気づくり」が22.7%、「従業員と時間外労働削減の話し合い」が17.8%という結果となった。本県では、全国平均の割合と比べて「管理職による残業時間管理の徹底」が多くなっている。(図-4)

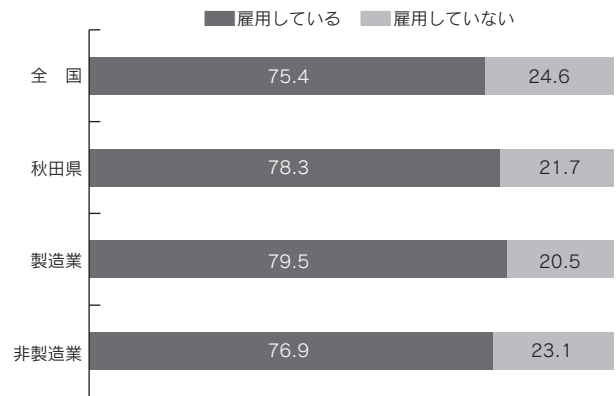
図-4 時間外労働削減の取り組み内容



5 高齢者の雇用の有無

本県における60歳以上の高齢者の雇用状況を見ると、高齢者を「雇用している」事業所は78.3% (昨年78.7%) となっており、昨年と比べるとほぼ横ばいであり、全国平均の75.4%と比較すると、2.9%上回る結果となった。対して、「雇用していない」事業所は、21.7% (昨年21.3%) となっており、全国平均の24.6%と比較すると、下回る結果となった。(図-5)

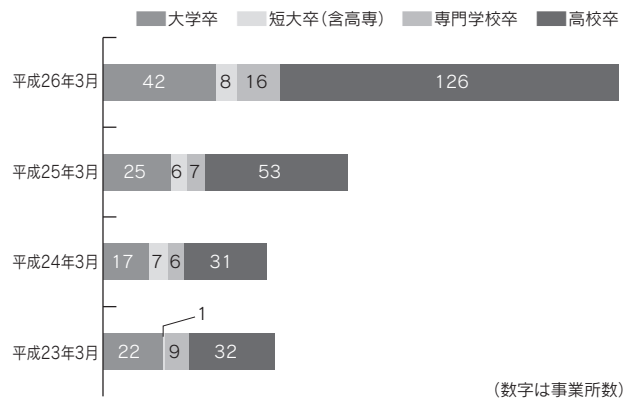
図-5 高齢者の雇用の有無



6 平成26年3月新規学卒者の採用計画

平成26年3月新規学卒者の採用計画についてみると、2年連続で採用計画のある事業所は、増加傾向にある。内訳として、高校卒を計画しているのが、126事業所と最も多く、次いで、大学卒が42事業所、専門学校卒が16事業所、短大(含高専)卒が8事業所となっている。(図-6)

図-6 新規学卒者の採用計画



7 賃金改定実施状況

平成25年1月1日～7月1日(調査時点)までの賃金改定状況を見ると、賃金を「上げた」と回答した事業所は191事業所38.1%となり、一方、賃金を「下げた」と回答した事業所は7事業所1.4%となった。また、「未定」と回答した事業所は135事業所26.9%という結果となった。(図-7)

図-7 賃金改定実施状況

